

平成29年7月4日

P T A会員の皆様へ

船橋希望学舎  
世田谷区立船橋希望中学校 P T A  
会長 平野 千晶  
研修委員長 高橋 佑香

## 平成29年度 第1回 家庭教育学級のご報告

保護者の皆様には日頃よりP T A活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

6月22日(木)多目的ルームにて、第1回 家庭教育学級を開催しました。

本年4月に本校校長として着任された菅野茂男先生を講師にお迎えし、63名の方々にご参加いただきました。

「生きる力」とともに学びあい未来へ～子どもたちの豊かな心と身体を育てよう～のテーマのもとに小学校校長のご経験もある先生ならではの視点で「9年間で子どもはどこまで成長するか」についてお話くださいました。ご自身の家族のエピソードなどもまじえ、子育てから進路選択にいたるまで、楽しく発見のある時間を過ごすことができました。講演内容を少しご紹介いたします。

### ◆「手をかける」から「目をかける」へ

今の小学生は昔の小学生と比べると反抗期が早く、親との問題意識にずれ違いが生じている。大人のペースではなく、子どもの成長に合わせて目をかけ、見守っていくことが大切です。

### ◆褒めてから叱る

逆境の中で力を出す人は少数派で、褒められた経験が多い人ほど、社会を生き抜くうえで必要なへこたれない力が高いという統計が出ています。

叱るときは「まず子どもを褒めてから」がポイントです。

### ◆子育ては次のステージを視野に 〈進路選択〉

「この成績で合格する学校を選ぶ」は過去のこと。合格することのみを目的に選ぶのではなく、入学したら何がしたいのか？が重要となります。

最初の動機は、「やりたい部活動がある」「自転車で通学できる」など、何でも構わないので、まずは、学校見学へ行ってみましょう。そのうちに自分に合う学校、行きたい学校が見つかります。説明会や体験教室の他、体育祭や文化祭など、ぜひ保護者の方も一緒に中学1年生くらいから出かけてみてください。

### ◆第2志望校選びが重要

魅力のある第2志望の高校を選ぶことも重要です。そうすることで、安心して第1志望の学校を受けることができます。

また都立と私立では校風に違いがあるため、子どもにはどちらが合うのか？と迷ったら、普段から生徒といちばん身近に接している先生に聞いてください。

その他にも民間企業から教員になられたご自身の経歴や、本校のステキなお話、小学生の自立についてのお話、お子さんの経験に基づく留学のすすめ、また、お父さまの戦争体験から「生きる力」につながるお話などなど、参加者の心に深く届く講演でした。

～参加者の感想より～

- ・ あっという間の1時間半でした。先生の話はわかりやすく、しかも大変深い内容で、とてもよかったです。とくに先生のお父さまのお話が、「生きる力」をつけるというテーマにそって、忘れられない貴重なお話でした。
- ・ 先生のご経験をもとに、大変興味深いお話が聞けました。掃除用具入れは家庭でも同じで、親も忙しいと部屋が散らかったままになっていたり、自分を振り返るバロメーターだと感じました。
- ・ 「この成績で合格する高校は？」というのは過去の話で、高校で何がやりたいのかを考えるというのはまさに私が子に言いかせていることだったので、やはりそれでいいのだなと思いました。背中を押してもらえた気がします。
- ・ 民間企業と小学校での経験豊かな先生のお話、興味深く拝聴しました。いわゆる「ザ・中学の先生」的な話ではなく、スーッと心に入ってくるお話でした。「自己肯定感」を大切に、日々の生活を考えていきます。土橋先生、本田(副校長)先生のお話も楽しかったです。
- ・ 「生きる力」「逆境に耐えられる力」をつけてほしい。ただ、そのような状況、環境が少ないように思います。わが子にはもう少しハングリー精神を持ってほしいところです。
- ・ 「小1こそ自立への第一歩」我が家には小1～中3まで兄弟がいます。今まであまり意識していませんでしたが、それぞれに先を見通した声かけをしようと、今日のお話を聞き気づきました。「第2志望校選び」まさに今しています。タイムリーな話が聞けてよかったです。

この他にも多くの感想をいただきました。

参加して下さった皆さま、ありがとうございました。

～次回の研修会～

単P研修会 9月6日(水) 15時～16時

世田谷区教育委員会事務局教育指導課 副参事 加藤敏久氏

「学びに向かう力と人間性 感じよう人間のすばらしさを」

昨年度の講演も大変好評でした。

たくさんのご参加をおまちしています。

